

## 宮下病院機能検討委員会報告書【概要】

## 現状と課題

## 急激な患者減少・高齢化

⇒ 患者減少・高齢化の進む  
奥会津地域における医療の提供

## 高い高齢患者率

⇒ 需要に応じた内科や整形外科のほか  
高齢者向け診療科への対応

## 診療圏唯一の入院機能

⇒ 受入の現状や地理的特性を踏まえた  
入院機能の維持

## 診療圏唯一の救急機能

⇒ 搬送実態や地理的特性を踏まえた  
救急・時間外患者の受入機能の維持

## 限られた医療資源

⇒ 医師・施設等が限られる実情を  
踏まえた医療資源の効果的な活用

## 機能のあり方

## 診療圏に必要な機能の確保

医療的機能	外 来	内科・整形外科・耳鼻咽喉科・精神科・皮膚科等に対応 常勤の内科・整形外科医の確保
	入 院	病床を有する医療機関として入院に対応
	救急・時間外医療	初期救急・時間外患者を受入
	へき地医療	へき地医療の拠点として医療機関等を支援
	在宅医療	在宅医療（訪問診療・訪問看護等）の提供
保健福祉的機能	地域包括ケアシステム	医療機関として地域包括ケアシステムの構築支援
	予防医療・健康増進対策	町村等と連携した予防医療・健康増進対策

## 限られた医療資源での持続可能な運営

持続可能な運営	医師・医療スタッフの確保	町村等とも連携した「働きたい」と思える環境づくり 福島県立医大等との連携強化による医療人材の確保
	安定的な経営	医療提供体制維持のための安定的な経営
	地域づくりへの参画	医療機関の専門性を活かした町村等取組との連携
	立地・施設	関係機関との連携やアクセス性、災害対策等を考慮